

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年3月3日(2011.3.3)

【公表番号】特表2006-528646(P2006-528646A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-521305(P2006-521305)

【国際特許分類】

C 07 D 491/048 (2006.01)  
C 07 D 495/04 (2006.01)  
C 07 D 498/04 (2006.01)  
C 07 D 519/00 (2006.01)  
A 61 K 31/4355 (2006.01)  
A 61 K 31/4365 (2006.01)  
A 61 K 31/437 (2006.01)  
A 61 K 31/438 (2006.01)  
A 61 K 31/439 (2006.01)  
A 61 K 31/444 (2006.01)  
A 61 K 31/4545 (2006.01)  
A 61 K 31/455 (2006.01)  
A 61 K 31/4709 (2006.01)  
A 61 K 31/4725 (2006.01)  
A 61 K 31/496 (2006.01)  
A 61 K 31/497 (2006.01)  
A 61 K 31/506 (2006.01)  
A 61 K 31/5377 (2006.01)  
A 61 K 31/551 (2006.01)  
A 61 P 1/04 (2006.01)  
A 61 P 1/16 (2006.01)  
A 61 P 3/10 (2006.01)  
A 61 P 5/14 (2006.01)  
A 61 P 7/06 (2006.01)  
A 61 P 7/10 (2006.01)  
A 61 P 9/00 (2006.01)  
A 61 P 9/10 (2006.01)  
A 61 P 9/14 (2006.01)  
A 61 P 11/00 (2006.01)  
A 61 P 11/06 (2006.01)  
A 61 P 13/12 (2006.01)  
A 61 P 15/00 (2006.01)  
A 61 P 17/00 (2006.01)  
A 61 P 17/02 (2006.01)  
A 61 P 17/06 (2006.01)  
A 61 P 19/02 (2006.01)  
A 61 P 25/00 (2006.01)  
A 61 P 27/02 (2006.01)  
A 61 P 29/00 (2006.01)  
A 61 P 31/04 (2006.01)  
A 61 P 31/12 (2006.01)

A 6 1 P	31/18	(2006.01)
A 6 1 P	31/22	(2006.01)
A 6 1 P	33/00	(2006.01)
A 6 1 P	33/02	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
C 0 7 F	5/02	(2006.01)

## 【 F I 】

C 0 7 D	491/048	C S P
C 0 7 D	495/04	1 0 5 A
C 0 7 D	498/04	1 0 5
C 0 7 D	519/00	
C 0 7 D	519/00	3 0 1
A 6 1 K	31/4355	
A 6 1 K	31/4365	
A 6 1 K	31/437	
A 6 1 K	31/438	
A 6 1 K	31/439	
A 6 1 K	31/444	
A 6 1 K	31/4545	
A 6 1 K	31/455	
A 6 1 K	31/4709	
A 6 1 K	31/4725	
A 6 1 K	31/496	
A 6 1 K	31/497	
A 6 1 K	31/506	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	31/551	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	7/06	
A 6 1 P	7/10	
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	9/14	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	15/00	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/02	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	29/00	1 0 1

A 6 1 P 31/04  
 A 6 1 P 31/12  
 A 6 1 P 31/18  
 A 6 1 P 31/22  
 A 6 1 P 33/00  
 A 6 1 P 33/02  
 A 6 1 P 35/00  
 A 6 1 P 37/02  
 A 6 1 P 43/00 1 1 1  
 C 0 7 F 5/02 C

## 【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年11月30日(2010.11.30)

## 【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

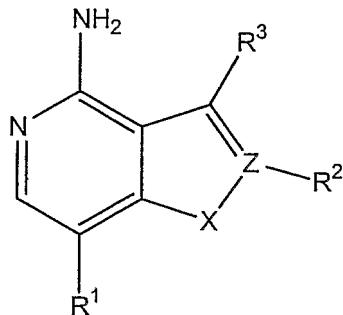
【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

## 【訂正の内容】

【0 0 0 7】

【化2】



(I),

式中、

Xは、OおよびSからなる群から選択され；

Zは、CおよびNからなる群から選択され；

R<sup>1</sup>は、水素、アルケニル、アルコキシアルキニル、アルコキシカルボニル、アルコキシカルボニルアルケニル、アルキル、アルキニル、アリール、アリールアルケニル、アリールアルキル、アリールアルキニル、アリールオキシアルキル、アリールオキシアルキニル、アリールスルファンルアルキル、アリールスルファンルアルキニル、アリールスルホニルオキシアルケニル、カルボキシ、カルボキシアルケニル、カルボキシアルキル、カルボキシアルキニル、シアノ、シアノアルケニル、シアノアルキル、シアノアルキニル、シクロアルキル、シクロアルキルアルコキシアルキニル、シクロアルキルアルケニル、シクロアルキルアルキニル、ホルミルアルケニル、ホルミルアルキル、ハロ、ハロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアリールアルケニル、ヘテロアリールアルキル、ヘテロアリールカルボニル、ヘテロアリールカルボニルアルケニル、ヘテロアリールカルボニルアルキル、複素環、複素環アルケニル、複素環アルキル、複素環アルキルカルボニル、複素環アルキニル、複素環カルボニル、複素環カルボニルアルケニル、複素環カルボニルアルキル、複素環オキシアルケニル、ヒドロキシアルケニル、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシアルキニル、NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)アルケニル、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)アルキル、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)アルキニル、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)カルボニル、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)カルボニルアルケニル、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)カルボニルアルキル、(NR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>)カルボニルアルキニル、ニト

口、ニトロアルケニル、ニトロアルキルおよびニトロアルキニルからなる群から選択される；

R<sup>2</sup>は、非存在であるか、水素およびアルキルからなる群から選択され；

R<sup>3</sup>は、ハロ、アリール、ヘテロアリールおよび複素環からなる群から選択され；前記アリール、前記ヘテロアリールおよび前記複素環は、独立にアルコキシ、アルキル、アリール、シアノ、ハロ、ハロアルコキシ、ハロアルキル、ヘテロアリール、複素環、ヒドロキシ、ヒドロキシアルキル、LR<sup>4</sup>およびNR<sup>a</sup>R<sup>b</sup>からなる群から選択される1個、2個または3個の置換基で置換されていても良く；ただし、この3つの置換基のうちに少なくとも2個がLR<sup>4</sup>以外であり；

Lは、O、(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>C(O)NR<sup>5</sup>、NR<sup>5</sup>C(O)(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>、NR<sup>5</sup>SO<sub>2</sub>、SO<sub>2</sub>NR<sup>5</sup>、(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>N(R<sup>5</sup>)C(O)N(R<sup>6</sup>)(CH)<sub>n</sub>および(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>N(R<sup>5</sup>)C(S)N(R<sup>6</sup>)(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>からなる群から選択され；mおよびnは独立に、0または1であり；各基は、その右端がR<sup>4</sup>に結合して描かれ；

R<sup>4</sup>は、アリール、アリールアルキル、シクロアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアリールアルキル、複素環および複素環アルキルからなる群から選択され；

R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>は独立に、水素およびアルキルからなる群から選択され；

R<sup>a</sup>およびR<sup>b</sup>は独立に、水素、アルケニル、アルコキシアルキル、アルコキシカルボニル、アルコキシカルボニルアルキル、アルキル、アルキルカルボニル、アルキルスルファニルアルキル、アルキルスルホニル、アリール、アリールアルコキシカルボニル、アリールアルコキシカルボニルアルキル、アリールアルキル、アリールカルボニル、アリールスルホニル、カルボキシアルキル、シクロアルキル、シクロアルキルアルキル、ホルミルアルキル、ヘテロアリール、ヘテロアリールアルキル、ヘテロアリールカルボニル、ヘテロアリールスルホニル、複素環、複素環アルキル、複素環アルキルカルボニル、複素環カルボニル、複素環スルホニル、ヒドロキシアルコキシアルキル、ヒドロキシアルキル、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)アルキル、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)アルキルカルボニル、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)カルボニルおよび(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)カルボニルアルキルからなる群から選択され；前記アリール、前記アリールアルコキシカルボニル、前記アリールアルコキシカルボニルアルキル、前記アリールアルキル、前記アリールカルボニルおよび前記アリールスルホニルのアリール部分、前記シクロアルキル、前記シクロアルキルアルキルのシクロアルキル部分、前記ヘテロアリール、前記ヘテロアリールアルキルおよび前記ヘテロアリールカルボニルのヘテロアリール部分、前記複素環、ならびに前記複素環アルキル、前記複素環カルボニルの複素環部分は、独立にアルケニル、アルコキシ、アルコキシカルボニル、アルキル、アルキルカルボニル、アリール、アリールアルキル、ハロ、ハロアルコキシ、ハロアルキル、ヒドロキシ、ニトロ、NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)アルキル、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)アルキルカルボニル、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)カルボニル、(NR<sup>c</sup>R<sup>d</sup>)カルボニルアルキル、オキソおよびスピロ複素環からなる群から選択される1個、2個、3個、4個または5個の置換基でさらに置換されていても良く；前記アリールおよび前記アリールアルキルのアリール部分は、独立にアルコキシ、アルキル、シアノ、ハロ、ハロアルコキシ、ハロアルキル、ニトロおよびオキソからなる群から選択される1個、2個、3個、4個または5個の置換基で置換されていても良く；

R<sup>e</sup>およびR<sup>f</sup>は独立に、水素、アルコキシ、アルキル、アリール、カルボキシアルキル、シクロアルキル、ハロアルキル、ヘテロアリール、複素環、複素環アルキル、ヒドロキシアルコキシアルキル、ヒドロキシアルキルおよび(NR<sup>e</sup>R<sup>f</sup>)アルキルからなる群から選択され；前記アリール、前記ヘテロアリールおよび前記複素環は、独立にアルケニル、アルコキシ、アルキル、ハロ、ハロアルコキシ、ハロアルキル、ヒドロキシおよびニトロからなる群から選択される1個、2個、3個、4個または5個の置換基で置換されていても良く；

R<sup>e</sup>およびR<sup>f</sup>は独立に、水素およびアルキルからなる群から選択される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 4 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 4 2】

別の実施形態において本発明は、R<sup>1</sup>がヘテロアリールであり、このヘテロアリールはベンゾチアゾリル、ベンゾチエニル、ベンゾオキサゾリル、フリル、インドリル、ピラゾリル、ピラジニル、ピリダジニル、ピリジニル、ピリミジニル、ピロリルおよびチエニルからなる群から選択され、このヘテロアリールはアルコキシ、アルキル、ホルミル、ハロゲンおよびハロアルキルからなる群から選択される1個または2個の置換基で置換されていても良く；R<sup>2</sup>が水素であり；R<sup>3</sup>がアリールであり、このアリールはLR<sup>4</sup>で置換されたフェニルであり；R<sup>4</sup>がアリールであり、このアリールは独立にアルキル、アルキルカルボニル、シアノ、ハロゲンおよびハロアルキルからなる群から選択される1個または2個の置換基で置換されていても良いフェニルであり、好ましい基は塩素、フッ素、メチルおよびトリフルオロメチルであり；Lが(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>N(R<sup>5</sup>)C(O)N(R<sup>6</sup>)(CH<sub>2</sub>)<sub>n</sub>であり；R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>が水素であり；mが0であり；nが0であり；ZがCであり；XがSである式(I)の化合物を提供する。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 9 2

【訂正方法】 変更

【訂正の内容】

【0 0 9 2】

別の実施形態において本発明は、R<sup>2</sup>が水素であり；R<sup>3</sup>がアリールであり、このアリールはアルコキシおよびLR<sup>4</sup>で置換されたフェニルであり；R<sup>4</sup>がヘテロアリールであり、そのヘテロアリールはアルキル基で置換されていても良いインドリルであり、好ましいアルキル基はメチルであり；LがNR<sup>5</sup>C(O)(CH<sub>2</sub>)<sub>m</sub>であり；R<sup>5</sup>およびR<sup>6</sup>が水素であり；mが0であり；ZがCであり；XがSであり；R<sup>1</sup>が式(I)で定義の通りである式(I)の化合物を提供する。